



# 社会福祉法人 松籟会



## 広報誌

☆ 発効日  
 ☆ 発行者  
 ☆ 所在地  
 ☆ 電話  
 ☆ FAX

平成二十六年四月  
 社会福祉法人 松籟会 広報委員会  
 沖縄県名護市字宇茂佐一八七三番地一  
 ○九八〇—(五三)—一九三四  
 ○九八〇—(五三)—七四七二

初めに、かりゆしぬ村より皆様に御礼申し上げます。

当「社会福祉法人 松籟会 特別養護老人ホームかりゆしぬ村」は、三十四年目を迎えることができました。

これも利用者の皆様、並びにご家族・地域住民（民生委員・協力員）・ボランティア・関係施設・行政官庁等々、皆様方のご理解とご支援のお陰だと感謝し、この場をかりて厚く御礼申し上げます。

これからも地域に根差した福祉施設であり続ける為に、役員一同精進して参りますので、今後とも皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、御礼の挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 松籟会

理事長 仲兼久 文政

・平成 26 年 3 月 8 日（土）・9 日（日）  
 名護市福祉まつりが催されました。  
 かりゆしぬ村では、特養・デイサービス（二事業所）をご利用頂いている利用者様の作品を展示致しました。



# 平成二十五年 度

## 第十六回事例発表会

平成二十六年二月二十一日（金）  
かりゆしぬ村交流ホームにて、  
事例発表会が行われました。

### 第一部 基調講演

- ・「ノロウイルスを含めた食中毒の  
予防と対策について」  
沖縄県北部福祉保健所

所長 宮里 達也 様

講演では、食中毒の発生状況、ノロウ  
イルスによる集団食中毒事例（広島市、  
沖縄県）食中毒予防三原則  
一、 つけない 二、 ふやさない  
三、 やつつける  
ノロウイルス予防四原則  
一、 持ち込まない 二、 拡げない  
三、 やつつける 四、 付けない  
とそれぞれ細かく説明して頂き、講演  
を通して、集団発生のリスクについて  
学び、対策がいかに大切か再確認する  
事が出来ました。

第二部では、職員二名 事例発表  
特別養護老人ホーム3グループリーダー

荻堂 盛恒

- ・「穏やかに安心した笑顔のある生活を目指して」

デイサービス大南主任 岸本 雄志

- ・「利用者支援と家族支援から考えるデイサービスの  
今後のあり方」

民生委員一名 事例発表

名護市第2民児協会長 比嘉 敬吾 様

- ・「民生委員・児童委員活動から見た地域の福祉  
課題について」  
事例発表が行われました。

最後に

名護市介護長寿課 課長 野原 健伸 様

フリーライター 山城 紀子 様

二名に講評して頂き、どれもお誉めの言葉  
を頂き、感謝申し上げます。

事例をまとめるのに、業務後毎日遅くまで  
職員同士協力し、制作しておりました。

毎年、職員は交代で発表を行っておりますが、  
皆上司や、先輩方からご教授を受け信頼関係を  
も築く事が出来ております。







## アンジェラドライブ



三月十八日（火）二十一日（金）二日間に分けて、アンジェラのご利用者九名と職員七名は、つつじ祭りへミニドライブに出掛け、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

これからの季節は、暖かくなり、ドライブには絶好のシーズンになりますのでご利用者が楽しめるドライブを沢山計画し、色々な形でニーズに答えていけるよう、職員一同益々まい進して参ります。



## 第十五回名護市障害者スポーツ大会

去る、三月二日（日）名護市二十一世紀の森体育館で、名護市障害者スポーツ大会が行われました。

毎年一回、障害者、市民、関係者が一堂に会し、スポーツを通して相互の親睦を深め、社会活動の場を広げていけるよう名護市やNPO法人名護市障害者関係団体協議会が主催になり行われております。

かりゆしぬ村でも、訪問介護事業所から六名がボランティアとして参加し大会を盛り上げました。



# 名護市グツジョブ



かりゆしぬ村では、名護市グツジョブ連携協議会の取り組みの一環でもあります。名護市内の小・中学生を職場体験として受入れております。

その受け入れた企業として、去る平成二十六年二月十八日（火）FMやんばるに当施設より介護主任（比嘉）が出演致しました。

受け入れた生徒の様子や、生徒から感じたこと、生徒からの質問等を話させて頂きました。その時の写真を掲載致します。



## 社会福祉法人 松 籟 会 組織図

平成 26 年 4 月 1 日現在

